

令和5年度
全国学力・学習状況調査
分析結果

泉佐野市教育委員会
令和5年10月

はじめに

平成19年度より文部科学省が実施してきました「全国学力・学習状況調査」は、平成26年度に実施要領が変更され、教育委員会における市町村・学校の結果公表の取扱いについて、「調査結果の公表に関しては、(中略)調査により測定できるのは学力の特定の一部であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。」としています。このことを踏まえ、泉佐野市教育委員会におきましては、実施要領に定める配慮事項に十分留意した上で、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表を平成26年度より行っています。

令和5年度の調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象とし、学力に関しては、小学校で国語、算数、中学校で国語、数学、英語の調査が行われ、併せて児童生徒の学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査も行われました。

本市においては、抽出調査となった平成22年度以降も、全国や大阪府の学力・学習状況調査に全小中学校が参加し、その調査結果の分析を行い、具体的な施策や取組みに生かしています。また、平成26年度からは、市全体の分析と併せて、各学校の平均正答率及び分析結果を公表しています。なお、本調査結果は、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと、また、各学校では、様々な取組みを進めていることを十分ご理解いただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、本市の教育行政ならびに学校の教育活動に、引き続きご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年10月

泉佐野市教育委員会

教育長 奥 真弥

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年, 全児童	実施児童数 (790人)
中学校第3学年, 全生徒	実施生徒数 (693人)

4. 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

- (ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- (イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- (ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

小 学 校

(令和5年4月18日実施790名参加)

国語に関する分析
算数に関する分析
児童質問紙の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて、生活習慣を整えましょう。
- ②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥ゲームや動画の視聴をするときは時間を決めましょう。(1日1時間以内を目安に)

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。
平均正答率（泉佐野市 62／大阪府 66／全国 67.2）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題がある。 3一（1）【インタビューの様子】の傍線部ア（～ということだと思いますが、合っていますか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する (65.8/73.6) 3一（2）【インタビューの様子】の傍線部イ（～というのは、どのような姿ですか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する (67.5/74.0) ○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。 3二寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く (60.6/70.2)</p> <p>【書くこと】 ○図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 1二【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く (23.3/26.7)</p> <p>【読むこと】 ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することが概ねできている。 2一【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する (88.4/90.0)</p>	<p>○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。 2二【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する (59.6/67.4) ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題ある。 2四資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く (48.7/56.2)</p> <p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことが概ねできている。 1三（2）イ【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する（くらべて） (89.6/93.1) ○文章の種類とその特徴について理解しているかに課題がある。 1四【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する (70.3/79.8) ○日常よく使われる敬語を理解することに課題がある。 3三敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する (50.1/57.6)</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかに課題がある。 1一米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する (59.2/64.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	57.3	61.5 (59.4)		4.2
国語の勉強は大切だと思いますか	92.3	94.2 (92.8)		1.9
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.6	85.7 (86.1)		1.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.9	92.8 (91.3)		0.9
国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	82.5	83.9 (82.6)		1.4
国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	73.9	76.8 (75.1)		2.9
国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか	67.2	71.1 (70.2)		3.9
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	79.4	82.3 (80.4)		2.9
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	76.5	80.7 (77.7)		4.2
解答時間は十分でしたか（国語） ※「時間が余った」「ちょうどよかった」を合わせた割合	53.2	64.1 (62.6)	○	10.9

- 「国語の勉強は好きだ」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて少し増加したことは評価できる。
(R4 51.2)
- 「国語の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて減少しているが、高い割合であることは評価できる。
(R4 93.0)
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて少し増加し、高い割合であることは評価できる。
(R4 90.4)
- 国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいることは評価できる。
- 解答時間する時間は十分と感じている児童の割合に課題がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容					評価の観点	問題形式			正答率(%)			無解答率(%)					
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	大阪府（公立）	全国（公立）
			(1)	(2)	(3)	A	B													
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	5・6ア						○		○		59.2	63.2	64.7	2.9	2.0	1.8		
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6エ			○		○	23.3	24.2	26.7	6.6	7.6	7.1			
1三(1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（いがい）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○		○	52.0	52.2	52.8	5.8	4.7	4.8			
1三(1)ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す（まかん）		5・6エ						○		○	72.4	73.9	72.6	6.7	6.2	6.7			
1三(2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものととして適切なものを選択する（くらべて）	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6ウ						○		○	89.6	92.6	93.1	2.2	1.1	1.0			
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	5・6カ						○		○	73.0	78.5	79.8	3.0	2.1	2.0			
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる					3・4ウ		○		○	88.4	88.7	90.0	2.2	1.4	1.2			
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる					5・6ウ		○		○	59.6	65.7	67.4	2.4	1.6	1.4			
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものととして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6イ						○		○	58.1	62.0	62.0	2.9	1.8	1.6			
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる					5・6オ		○		○	48.7	53.1	56.2	11.3	8.9	8.5			
3一(1)	【インタビューの様子】の傍線部ア（～ということだと思いますが、合っていますか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる					3・4エ		○		○	65.8	71.7	73.6	6.5	4.0	3.7			
3一(2)	【インタビューの様子】の傍線部イ（～というのは、どのような姿ですか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する						3・4エ		○		○	67.5	72.8	74.0	6.8	4.4	4.1			
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる					5・6エ		○		○	60.6	68.0	70.2	20.5	14.8	14.3			
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	5・6キ						○		○	50.1	57.6	57.6	18.7	10.3	9.5			

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に少し偏りが見られる。

平均正答率（泉佐野市 59／大阪府 62／全国 62.5）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることは概ねできている。</p> <p>1（4）全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する（80.3/80.8）</p> <p>○（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることにより課題がある。</p> <p>3（1）2種類の辞書を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ（63.8/70.3）</p> <p>○示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。</p> <p>3（2）3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する（49.4/56.7）</p> <p>○（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。</p> <p>3（4）$66 \div 3$の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ（41.5/47.6）</p> <p>【図形】</p> <p>○正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみることは概ねできている。</p> <p>2（2）テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く（84.8/87.2）</p> <p>○正三角形の意味や性質について理解に課題がある。</p> <p>2（3）切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く（23.6/24.9）</p>	<p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>2（4）テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大きさについて分かることを選び、選んだわけを書く（14.9/20.8）</p> <p>【変化と関係】</p> <p>○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることは概ねできている。</p> <p>1（1）5脚の椅子を重ねたときの高さを求める（92.0/93.5）</p> <p>○伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることは概ねできている。</p> <p>1（2）椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く（87.7/88.5）</p> <p>○百分率で表された割合について理解に課題がある。</p> <p>4（1）示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ（40.3/46.0）</p> <p>【データの活用】</p> <p>○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>4（3）二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く（48.2/56.2）</p> <p>○二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。</p> <p>4（4）二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ（58.0/64.6）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.8	61.4 (60.3)		2.6
算数の勉強は大切だと思いますか	94.0	94.2 (93.0)		0.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	79.7	81.2 (82.4)		1.5
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.4	93.3 (92.0)		0.9
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	78.5	80.3 (78.3)		1.8

- 「算数の勉強は好きだ」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて少し減少したことは課題である。
(R4 61.6)
- 「算数の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。
(R4 93.4)
- 「算数の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合が、昨年と比べて少し減少したことは課題である。
(R4 84.3)
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。
(R4 91.7)
- 「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が、昨年度と比べ少し減少したことは課題である。
(R4 80.9)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1(1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4(1) 7(7)	○			○		92.0	93.4	93.5	1.3	1.0	0.8		
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数を表を用いて、表の数を使って書くことができるかどうかをみる				5(1) 4(7) 4(7)	○			○		87.7	88.3	88.5	0.8	1.0	1.0		
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5(1) 4(7) 5(2) 4(7)	○			○		51.2	55.2	55.5	4.2	3.4	3.4		
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3(3) 7(7)				○			○		80.3	81.2	80.8	1.0	1.2	1.2		
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				4(1) 7(4)	○			○		59.5	60.5	59.8	1.1	0.7	0.7		
2(2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				2(1) 7(4) 4(1) 7(7)	○			○		84.8	87.3	87.2	4.0	3.0	2.9		
2(3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切る際のAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				3(1) 7(7) 5(1) 7(4)	○			○		23.6	25.6	24.9	4.4	3.6	3.7		
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる				5(3) 4(7)	○			○		14.9	20.5	20.8	3.8	3.6	4.0		
3(1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれのようなことを表しているのかを選ぶ	()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる				4(6) 7(7)	○			○		63.8	68.7	70.3	1.6	1.5	1.4		
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを欄に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる				3(5) 7(4) 4(4) 7(2) 4(7)	○			○		49.4	56.5	56.7	4.2	3.9	4.0		
3(3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる				4(6) 7(7) 4(1) 7(7)	○			○		70.9	71.9	72.4	3.2	2.5	2.5		
3(4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考慮することができるかどうかをみる				3(4) 4(7) 4(3) 7(7)	○			○		41.5	47.3	47.6	5.4	3.9	3.9		
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる				5(3) 7(4)	○			○		40.3	46.3	46.0	3.5	2.5	2.4		
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる				4(2) 7(4)	○			○		74.5	75.1	75.7	5.8	4.5	4.3		
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				3(1) 7(4) 4(7)	○			○		48.2	53.7	56.2	16.9	14.3	13.8		
4(4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる				4(1) 7(7)	○			○		58.0	62.6	64.6	6.6	5.0	4.9		

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校児童質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率> (大阪府回答率)
【家庭生活の様子】	<p>○朝食を毎日食べている割合は, 全国を下回っている。</p> <p>○毎日, 同じくらいの時刻に寝ている割合は全国を下回っている。</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加している割合は, 全国を下回っている。</p>	<p>○朝食を毎日食べていますか <88.7/93.9> (92.6)</p> <p>○毎日, 同じくらいの時刻に寝ていますか <75.0/81.0> (80.4)</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか <46.7/57.8> (51.0)</p>
【家庭学習の様子】	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は全国を下回っている。</p> <p>○昼休みや放課後, 学校が休みの日に, 本(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く)を読んだり, 借りたりするために, 学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)に行く割合は全国を下回っている。</p> <p>○家にある本が10冊以下の割合が, 全国を上回っている。</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む) <63.4/70.7> (62.7)</p> <p>○昼休みや放課後, 学校が休みの日に, 本(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く)を読んだり, 借りたりするために, 学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか 週に1回以上 <6.5/13.4> (9.5)</p> <p>○あなたの家には, およそどれくらいの本がありますか(雑誌, 新聞, 教科書は除く) 0~10冊 <19.4/12.9> (15.5)</p>
【学校での学習の様子】	<p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う割合</p>	<p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか <70.6/76.5> (73.4)</p>

	<p>は、全国を下回っている。</p> <p>○読書が好きな割合は、全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用している割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする割合は、全国を下回っている。</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○読書は好きですか <66.8/71.8> (70.8)</p> <p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか ほぼ毎日 <13.2/28.2> (24.9)</p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか <76.7/81.8> (79.0)</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <66.9/74.8> (67.7)</p>
--	---	--

中 学 校

(令和5年4月18日実施693名参加)

国語に関する分析
数学に関する分析
英語に関する分析
生徒質問紙の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて、生活習慣を整えましょう。
- ②課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥テレビゲームは時間を決めてするようにしましょう。(1日1時間以内を目安に)

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。
平均正答率（泉佐野市 63 /大阪府 68 /全国 69.8）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○目的や場面に応じて質問する内容を検討することは概ねできている。 1 インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する (83.7/87.5)</p> <p>○話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することに課題がある。 1 三相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する (70.3/76.6)</p> <p>○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることに課題がある。 1 四インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く (75.0/82.5)</p> <p>【書くこと】 ○読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。 3 レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する (47.5/54.3)</p> <p>○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。 3 四「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く (65.1/72.1)</p> <p>【読むこと】 ○観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることに課題がある。 2 二二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する (54.5/63.0)</p> <p>○文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することに課題がある。 2 三それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する (65.8/74.2)</p>	<p>○文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。 2 四自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く (56.0/67.5)</p> <p>○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。 4 三現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く (36.1/50.0)</p> <p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○事象や行為、心情を表す語句について理解することが概ねできる。 2 「落胆する」の意味として適切なものを選択する (86.3/91.1)</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】 ○意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題がある。 1 ニインターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する (59.2/65.1)</p> <p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解することに課題がある。 3 三「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く (51.7/61.8)</p> <p>【我が国の言語文化に関する事項】 ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。 4 一歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける） (74.3/82.5)</p> <p>○古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることに課題がある。 4 二原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと） (64.5/74.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	52.8	61.4 (59.4)	◇	8.6
国語の勉強は大切だと思いますか	91.1	92.4 (91.2)		1.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	77.4	80.0 (80.3)		2.6
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.5	88.7 (86.6)		1.2
行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書いていますか	61.2	67.2 (65.2)	◇	6.0
国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	63.9	65.9 (63.8)		2.0
国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	61.1	63.9 (60.8)		2.8
国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか	70.3	77.2 (75.6)	◇	6.9
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	64.9	74.3 (71.3)	◇	9.4
解答時間は十分でしたか（国語） ※「時間が余った」「ちょうどよかった」を合わせた割合	74.6	75.3 (77.6)		0.7

○「国語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合が、高い割合であることは評価できる。(R4 89.5)

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が、昨年度と比べて少し増加したことは評価できる。(R4 84.0)

○「国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている」と感じている生徒の割合の全国との差が大きいことは課題である。

○「今回の国語の問題について、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合の全国との差が大きいことは課題である。(R4 63.2)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)					
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
			(1)言葉の特徴や使い方に關する事項	(2)情報の扱い方に關する事項	(3)我が国の言語文化に關する事項	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと											
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したのとして適切なものを選択する	目的や場面にに応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる				1ア				○	○		83.7	86.6	87.5	0.4	0.1	0.1	
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア						○	○		59.2	63.6	65.1	0.4	0.2	0.2	
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効率的に質問することができるかどうかをみる				1エ				○	○		70.3	73.8	76.6	0.4	0.3	0.2	
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1エ				○	○		75.0	78.1	82.5	17.2	13.9	10.8	
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1ウ							○	○		86.3	90.3	91.1	0.6	0.2	0.2	
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる						2エ		○	○		54.5	59.4	63.0	0.7	0.5	0.4	
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる						1ア		○	○		65.8	72.9	74.2	0.9	0.3	0.3	
2四	自分がこれからのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる		2エ				2オ		○	○		56.0	63.5	67.5	7.1	4.9	3.9	
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる					1エ			○	○		47.5	54.7	54.3	1.6	0.5	0.6	
3二	漢字を書く(おし置つて)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ							○	○		48.5	47.6	43.9	13.9	10.3	10.7	
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2ア						○	○		51.7	59.7	61.8	4.5	2.3	2.1	
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				1ウ				○	○		65.1	69.5	72.1	13.7	11.4	10.2	
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる		1ア						○	○		74.3	82.0	82.5	8.2	4.5	3.6	
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる		2イ						○	○		64.5	71.4	74.1	8.9	5.8	4.8	
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○	○		36.1	47.4	50.0	29.0	22.5	20.7	

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と比べ上位層がやや少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。
平均正答率 (泉佐野市 44 / 大阪府 50 / 全国 51.0)

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることが概ねできている。</p> <p>6（1）はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求め (83.9/88.9)</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</p> <p>6（2）はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する (49.5/58.8)</p> <p>○結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見出し、説明することに課題がある。</p> <p>6（3）はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する (33.7/40.9)</p> <p>【図形】</p> <p>○空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解することに課題がある。</p> <p>3 空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ (26.9/30.4)</p> <p>○ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。</p> <p>9（1）2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして同位角または錯角が等しいことを示すことで証明する (25.5/32.1)</p> <p>○条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、照明を振り返って取ることに課題がある。</p> <p>9（2）二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く (28.6/37.0)</p>	<p>【関数】</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。</p> <p>8（1）晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く (49.5/57.5)</p> <p>○事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することに課題がある。</p> <p>8（2）二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ (55.7/61.7)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>8（3）グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する (31.9/42.8)</p> <p>【データの活用】</p> <p>○累積度数の意味を理解することに課題がある。</p> <p>5 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める (33.4/46.1)</p> <p>○四分位範囲の意味を理解することに課題がある。</p> <p>7（1）1961年～1975年の四分位範囲を求める (60.7/65.7)</p> <p>○複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>7（2）「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する (22.4/33.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	59.8	56.7 (56.3)		3.1
数学の勉強は大切だと思いますか	86.8	85.0 (83.2)		1.8
数学の授業の内容はよく分かりますか	78.9	73.3 (75.4)	◇	5.6
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	77.3	75.8 (74.2)		1.5
今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	49.2	57.1 (54.2)	◇	7.9

- 「数学の勉強が好きだ」と感じている生徒の割合は、全国よりも上回っており、評価できる。
(R4 59.6)
- 「数学の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合は、全国よりも上回っており、評価できる。
(R4 82.2)
- 「数学の授業の内容はよく分かる」と感じている生徒の割合は、全国よりも上回っており、評価できる。
(R4 78.8)
- 「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合は、昨年度と比べて増加したが、全国よりも下回っており課題がある。
(R4 40.3)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用		選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1	1, 5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1(1) ア(7)				○		○		43.3	48.3	46.1	0.1	0.1	0.1
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2(1) ア(7)				○		○		78.3	81.9	80.5	6.9	4.3	4.0
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる		1(2) ア(7)			○		○		26.9	30.5	30.4	1.6	0.7	0.8
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			1(1) イ(4)		○		○		42.6	44.2	42.8	0.7	0.5	0.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア(7)	○		○		33.4	43.6	46.1	19.1	12.8	11.0
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけた数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1(1) ア(7)				○		○		83.9	88.2	88.9	6.0	3.3	2.4
6(2)	はじめの数にかけた数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○		○		49.5	57.6	58.8	18.1	13.5	10.6
6(3)	はじめの数にかけた数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○		○		33.7	40.0	40.9	36.0	28.0	24.7
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				2(1) ア(7)	○		○		60.7	63.0	65.7	8.8	6.8	5.6
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明することができるかどうかをみる	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(7)	○		○		22.4	28.2	33.6	33.8	27.3	22.8
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる				2(1) ア(7) イ(7)	○		○		49.5	54.8	57.5	12.9	9.7	8.6
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) ア(4)	○		○		55.7	60.1	61.7	2.6	1.2	1.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区目のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(4)	○		○		31.9	38.9	42.8	18.0	14.7	13.2
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	2(1) イ(7)				○		○		25.5	33.2	32.1	32.8	25.9	24.7
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる	2(2) ア(4) イ(7)				○		○		28.6	36.5	37.0	21.6	15.5	14.2

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校英語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べると下位層が多い。
平均正答率（泉佐野市 43／大阪府 45／全国 45.6）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

英語	特徴がみられた設問
<p>【聞くこと】 ○情報を正確に聞き取ることに課題がある。 1（1）ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する (78.0/79.0) 1（2）道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する (55.5/64.4) 1（3）買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する (39.8/49.8)</p> <p>○日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることに課題がある。 2 忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する (54.0/61.1) 3 パーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する (39.0/41.2)</p> <p>○社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることに課題がある。 4 水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する (48.7/54.8)</p> <p>【読むこと】 ○情報を正確に読み取ることに課題がある。 5（1）ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する (52.4/56.0)</p> <p>○「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことは概ねできている。 5（2）事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する (68.9/64.5)</p>	<p>○日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることに課題がある。 7（2）図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する (32.0/34.7)</p> <p>○社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることに課題がある。 8（1）ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する (46.0/56.1)</p> <p>【書くこと】 ○未来表現（be going to）の肯定文を正確に書くことに課題がある。 9（1）①与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる (38.5/40.4)</p> <p>○疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことに課題がある。 9（1）②与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる (23.3/20.9)</p> <p>○「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことに課題がある。 9（2）メールの英文を依頼する表現に書き換える (25.9/29.0)</p> <p>○日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。 10 学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く (6.3/7.4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
英語の勉強は好きですか	55.2	51.9 (51.3)		3.3
英語の勉強は大切だと思いますか	89.6	88.0 (87.8)		1.6
英語の授業の内容はよく分かりますか	68.6	63.9 (66.6)		4.7
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.8	87.5 (87.5)		3.3
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	43.4	36.7 (40.2)	◇	6.7
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	36.0	30.0 (33.2)	◇	6.0
家庭学習の課題（宿題）として、どの程度 PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	10.0	9.1 (10.6)		0.9
1, 2 年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	78.0	78.2 (74.4)		0.2
1, 2 年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	79.7	80.3 (76.4)		0.6
1, 2 年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	58.7	63.8 (61.8)	◇	5.1
1, 2 年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	72.4	78.7 (79.1)	◇	6.3
1, 2 年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	78.5	82.8 (80.0)		4.3
1, 2 年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	77.1	80.7 (78.5)		3.6
1, 2 年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	76.3	79.3 (77.2)		3.0

今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	76.5	83.7 (80.4)	◇	7.2
解答時間は十分でしたか（英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）	65.7	68.6 (71.3)		2.9
今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	37.5	45.2 (41.3)	◇	7.7
解答時間は十分でしたか（英語「話すこと」）	50.3	45.5 (46.0)		4.8

- 「英語の勉強は好き」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「英語の授業の内容がよく分かる」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にあった」と感じている生徒の割合が高いことは評価できる。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差も大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差も大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差も大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差も大きいことは課題である。
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた」と感じている生徒の割合が低く、全国との差も大きいことは課題である。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと「やり取り」	(4) 話すこと「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			78.0	77.7	79.0	0.1	0.2	0.1
1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			55.5	62.0	64.4	0.4	0.2	0.2
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			39.8	49.0	49.8	0.1	0.2	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			54.0	61.9	61.1	0.1	0.2	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			39.0	40.9	41.2	0.1	0.3	0.2
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			48.7	52.9	54.8	0.7	0.5	0.4
5(1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○			○			52.4	54.4	56.0	0.3	0.3	0.3
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○						○		○			68.9	62.9	64.5	0.6	0.4	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			35.7	35.5	35.9	0.4	0.3	0.3
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○						○		○			60.2	59.5	59.8	0.6	0.4	0.3
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	イ								○			32.0	34.7	34.7	0.4	0.8	0.7
8(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			46.0	54.2	56.1	1.2	0.8	0.8
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる						ウ			○			18.6	20.8	19.5	39.2	32.4	29.3
9(1)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○		○			38.5	42.3	40.4	12.2	8.5	6.6
9(1)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○		○			23.3	23.8	20.9	16.0	12.2	10.9
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○		○			25.9	28.9	29.0	30.5	26.3	24.5
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる						イ	○		○			6.3	8.3	7.4	29.8	24.3	21.4

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校生徒質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率> (大阪府回答率)
【家庭生活の様子】	<p>○毎日, 同じくらいの時刻に寝ている割合は, 全国を下回っている。</p> <p>○学校の授業時間以外に, 全く読書をしない割合は, 全国を上回っている。</p> <p>○家にある本が10冊以下の割合が, 全国を上回っている。</p> <p>○読書が好きな割合は, 全国を下回っている。</p>	<p>○毎日, 同じくらいの時刻に寝ていますか $\underline{<71.8/78.0>}$ (77.2)</p> <p>○学校の授業時間以外に, 普段 (月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 読書をしますか (電子書籍の読書も含む。教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く) 全くしない$\underline{<54.0/36.8>}$ (45.3)</p> <p>○あなたの家には, およそどれくらいの本がありますか (一般の雑誌, 新聞, 教科書は除く) 0~10冊$<25.0/15.2>$ (18.8)</p> <p>○読書は好きですか $\underline{<55.6/66.0>}$ (61.0)</p>
【家庭学習の様子】	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に, 1日当たり全く勉強をしない割合は, 全国を上回っている。</p> <p>○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている割合は, 全国を上回る。</p>	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に, 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間, インターネットを活用して学ぶ時間も含む) 全くしない$<20.7/12.5>$ (21.5)</p> <p>○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか (インターネットを通じて教わっている場合も含む) 教わっている$<63.7/55.5>$ (62.9)</p>
【学校での生活の様子】	<p>○部活動に参加していない割合は, 全国を上回っている。</p>	<p>○学校の部活動に参加していますか 運動部, 文化部のどちらにも参加していない $\underline{<26.8/16.0>}$ (21.3)</p>